



目 次

年頭のご挨拶 高村 勝年	1
11 月 定例理事会	3
第 36 期臨時総会開催報告	4
第 36 期臨時総会「講演会」報告	5
ものづくり補助金の採択が決定しました！	6
平成 27 年度 技術講演会聴講報告	7
行事・講習会・資格試験等のご案内	9
こんな時代だから、ちょっと心に残る良い話	10
編集後記	11

表紙説明

今回の写真は、先日嵐山に行ったときに撮ったものです。

渡月橋は、橋長 155 m、幅 11 m で大堰川（桂川）に架かる橋です。

名前の由来は、鎌倉時代に亀山天皇（在位期間 1259 年～1274 年）が、満月の晩に舟遊びをされ、月が橋の上を渡るように見えることから、「くまなき月の渡るに似る」と詠われたことだそうです。

（服部 記）



年頭のご挨拶

協同組合 関西地盤環境研究センター

理事長 高村 勝年

新年明けましておめでとうございます。昨年は、組合員及び業界の方々から多大なるご支援とご協力を賜り本当に有難うございました。今年も、明るく元気に頑張りますので宜しくお願いいたします。

世の中の動きは刻々と変化しております。海外では、ロシア旅客機の爆弾テロ、パリ同時多発テロを契機に過激派組織「イスラム国」や国際テロ組織アルカイダ系への危機感が各国で一層高まっております。テロ行為の背景には、宗教・民族や温暖化・水資源などを含む問題が複雑に絡んでおり、減少させる事は出来ても無くすることは非常に難しい問題だと考えられます。国際社会協力のもと、シリア内戦の終結など諸問題の早期解決を目指して欲しい限りです。

ある報道の、テロへの危機感を持つ人の割合が、欧米先進国の 70 ～ 80% に対して日本は 40% 程度と低いと言う記事を見て、妙に納得すると共に危惧の念を持ちました。日本でも伊勢志摩サミットや東京オリンピック等が開催されます。これからは常に危機感を抱いて行動したいと思います。

優良・一流企業と呼ばれていた企業の不祥事が次々に発覚し、「大手企業の信頼崩壊」も社会問題になっております。何を信頼の基準に考えて判断するのか？迷ってしまいそうですが、世の中がどんなに変化しても、「倫理」が判断基準になる様になっていなければなりません。これからも大切な物事の判断は、「倫理」を基準にじっくりと考え、創造力を働かせながら行い、自分の信念に従って行い、行動したいと思っております。

私達の建設業界を取り巻く経営環境は、公共事業費削減に加えて、人材不足等の新たな難題が次々に持ち上がって益々厳しさを増してきている感が有ります。特に関西経済は、中央との相対地位の低下もあって新事業が少なくなっております。昨年末に、大阪維新の会の大阪府知事・市長が誕生しました。大阪都構想を巡る政治的な対立が目立ち、インフラ整備や産業振興策が後手になっていた感じがありました。新体制を機に、これまでの対立を乗り越えて合意形成を目指し、活気のある新事業が決議・実行され、関西の景気が上昇することを熱望しています。

センターの上半期の受注状況は、低めに設定した計画をも少し下回って、苦戦が続いていた平成 24 年度以前の動向に類似しております。下半期の受注動向も厳しいものと思われますが、少しでも多くの還元を実施したいと思っておりますので、皆様方のこれまで以上の積極的な利用をお願いいたします。

組合は今年度、創立 35 周年という小さな節目を迎えました。これを契機に、中山専務理事の新体制で次世代の安定化に臨んでいます。中山専務理事には前佐藤専務理事が進めてきた活性・効率・創造の改革路線を引き継ぎ、さらに成長発展出来るように職員と一丸となって頑張ってくれる事を望みます。

組合の重要な経営資源である人材と試験機・設備に関しては、人材面では4月に3名の新卒職員を採用するなど、人材育成や組織の強化に努めております。2名は先の地盤工学会で発表を行うなど早くも知名度向上に貢献しております。職員の年齢構成は、10代～50代までほぼ同じ人数となり、平均年齢も若く、バランスも良くなりました。また試験機・設備面でも、アベノミクスの建設特需を受けた平成25～26年度の過去最高の受注量と予想以上の利益のおかげもあって、更新と保守整備を積極的に行う事が出来ました。

試験設備と技術力からみると、全国9組合の中でもトップクラスになっております。高品質の成果品を正確に早く提供出来る様になり皆様方にも喜んでいただき、新体制での一層の充実に期待しております。これらは一朝一夕にはできるものではなく、長年に亘りセンター運営に尽力された多くの理事・顧問の先生方、そして組合員及び職員と周囲の方々の応援のおかげです。これまで関係して頂いた皆様方に、理事長として大変ありがたく感謝しております。

これからの時代の組合運営には、組合員とセンターの「共存・共栄」関係が重要となることを勘案し、理事会において支援サービス事業の強化を決定しました。その第一弾として、9月に組合員各社からの代表委員を派遣して頂きました。そして、名称も情報化小委員会→広報委員会、支援サービス小委員会→行事・組合員交流委員会、組合整備小委員会→活性化委員会、技術小委員会→教育・技術委員会に変更し、その活動内容がより具体的に分かるようにしました。

今年度は平成25年度に策定した中期経営計画の最終年度であり、見直しと次の3年間の「新中期経営計画」の策定を行っています。基本的には「組合員に、業界に、社会になくってはならない存在になる」をより堅固にするための道しるべとなるものです。なお、この中期経営計画策定は、活性化委員会活動の一環として、大阪府中央会から専門家委員派遣の協力も受けながら進めております。皆様方には、委員会活動へのご理解と積極的な参加・ご協力をお願いいたします。

最後に、センターと関西地質調査業協会とは、“私達の業界の地位向上と社会貢献”を共通の目的とする兄弟的な関係にあると思っております。センターは業界の試験室として、集中生産による経済性と信頼性への貢献、及び支援サービス事業を通じた業界の活性化や地位向上のアピールを行っております。一方協会は、業界の重要性・業務量拡大及び単価値上げ等の広報活動や国交省及び府県との防災災害協定を締結して、豪雨被害調査や地域防災イベントへの参加を通じて市民への危機対応意識を高めるなどの活動を行っております。現在、センター理事の3名は関西地質調査業協会の理事も兼務しており、「見学会」や「技術講演会」の日本応用地質学会を含めた3団体共同での開催・地域防災フェア出展協力・さらに全地連フォーラムおよび地盤工学会発表会での関西地区としてのアピールなど、多くの連携事業が効果的かつスムーズに出来ております。

地質調査の重要性が一般社会に認知されて、元気で魅力ある業界を目指して、組合と協会の理事が連携・協力して行動しておりますので、皆様方のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。今年が景気浮上の初年になれる様に皆で一緒に前進して行きましょう。

各企業様の益々のご発展と皆様方のご健勝を祈念いたしまして、挨拶に代えさせていただきます。

平成 27 年 11 月 24 日（火）12 時 30 分より、大阪キャッスルホテル会議室において、理事 9 名が出席して開催した。

定款の定めにより、高村理事長が議長に就任し議事進行を行った。

【報告事項】

- 1) 一般経過報告
10 月の会議・会合・行事について報告した。
- 2) 10 月分事業報告の件
 - ① 試験実施状況報告
試験依頼件数 239 件、受注金額は 30,319 千円、請求金額は 23,013 千円、
未試験金額、36,338 千円。
 - ② 収支実績報告
入金額 21,291 千円。
- 3) 第 36 期臨時総会及び講演会等担当確認の件
- 4) 年末・年始の業務及び年賀の件
- 5) ジオ・ラボネットワーク経営懇談会・臨時会開催報告の件
- 6) ものづくり補助金申請の件
- 7) その他の件
 - ① 技術講演会開催の件

【審議事項】

- 1) 組合職員冬期賞与支給検討の件
- 2) その他の件

☆お知らせ☆

☆ 年末・年始の業務

12 月 29 日（火）	大掃除・仕事納め
30 日（水）～1 月 4 日（火）	休業
1 月 5 日（火）	平常勤務・仕事始め

第36期臨時總會開催報告

11月24日 第36期臨時總會を大阪キャッスルホテルにて開催致しました。

八谷理事が開会を宣し、次に高村理事長が挨拶を行いました。その後、寺西副理事長が議長に指名され、議事は滞りなく進められ終了致しました。又、今年7月に新規組合員に加入された株式会社メーサイ様の紹介があり、ご挨拶がありました。

本臨時總會に引き続き、国土交通省 近畿整備局企画部 事業調整官の橋本 豊治氏を講師にお招きして、「関西広域地方計画」というテーマで、「関西の特徴、関西を取り巻く現状と課題、関西の目指す姿と戦略」など約1時間にわたりご講演を頂きました。

懇親会では、大阪中小企業団体中央会の今西氏の挨拶のあと、一般社団法人関西地質調査業協会 奥田理事の乾杯の発声で和やかに始まり、熱い歓談が行われ盛会の内に終了致しました。

(文責：森辰義)



高村理事長の挨拶



橋本事業調整官の講演



臨時總會会場の様子



関西協会奥田理事の乾杯

第36期臨時総会「講演会」報告

【演題】「関西広域地方計画」について

【講師】近畿地方整備局企画部 橋本豊治事業調整官

【講演内容】

- ・国土のグランドデザイン 2025
- ・国土形成計画との関係について
- ・関西広域地方計画
- ・近畿ブロック社会資本整備重点計画



各項目の概要は、以下の通りです。

「国土のグランドデザイン 2025」：「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。」（吉田松陰）を引き合いに、
●「急速に進む人口減少と少子化、異次元の高齢化」 ●「巨大災害の切迫」の現実と、それに対する国土交通省の計画の紹介と解説。

「国土形成計画との関係について」：『国土形成計画』（長期的な国土づくりの指針）「社会資本整備重点計画」（中期的な社会資本整備の具体的指針）「交通政策基本計画」（中期的な交通政策の具体的指針）の関係イメージ』、および『広域地方計画』（長期的な広域ブロックづくりの指針）と「地方重点計画」（地方ブロックにおける社会資本整備の具体的計画）の関係』についての解説。

「関西広域地方計画」：「関西の特徴」「関西を取り巻く現状と課題」「関西の目指す姿と戦略」さらに「主要プロジェクトの概要・代表例」の紹介と解説。

「近畿ブロック社会資本整備重点計画」：「社会資本整備の基本的考え方」および「近畿ブロックにおける社会資本整備重点計画の重点目標」の関係を解説。

社会資本整備の一端を担う者として、パワーポイントに示された『この国土を、子や孫、さらにその次の世代へと引き継いでいくことが、今日を生きる我々の世代の責務である。これまで積み上げてきた歴史・伝統・文化や、我が国の国土の有する特性・ポテンシャルを踏まえ、**短期的な視点に陥ることなく、国民の間で夢を共有した上で、未来を切り開いていくための中長期的なビジョンを描いていく必要がある。**』を忘れることなく、業務に専念しなければならないと強く感じました。（下線・赤字：原文）

講演に際しては、日頃じっくり見ることが少ない「計画」などを、多くのパワーポイントを用いて分かり易く紹介や解説をしてもらい、仕事不足から沈滞ムードが漂うわれわれに将来展望や元気を与えて頂きました。この紙面をお借りして改めて御礼申し上げます。（佐藤記）

ものづくり補助金の採択が決定しました！

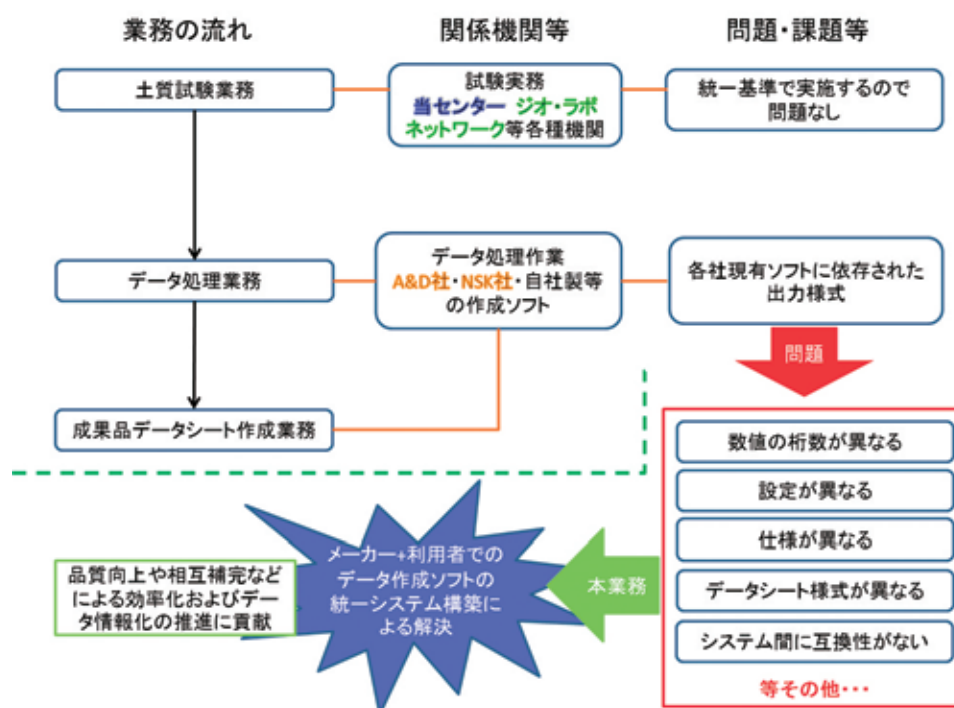
平成 26 年度補正ものづくり・商業・サービス革新補助金事業（2 次公募）で、当センターの「地盤試験データの互換性向上およびデータ作成ソフトの統一システム構築」が採択されました。さらなる品質向上や効率化を目指して、職員一同一丸となって取り組みます。

【補助金概要】 ・ 補助上限額：1,000 万円 ・ 補助率：2 / 3 ・ 事業完了：平成 28 年 9 月
【課題及び取り組む理由等】

試験データは、地盤情報として欠くことのできない要素の一つであり、当センターは地盤試験分野のリーダー的立場にある。地盤試験業務は、公的資格が無くても可能なために、その品質保証が各実施機関に委ねられている。また、試験装置の改善や開発に関しても、製作・使用・活用の連携が十分とは言えず、アンバランスな組み合わせも少なくない。信頼の確保のためには、このような現状の積極的な解消が喫緊の課題となっている。現状では、試験結果データの各機関相互の互換性の不完全なことが、データチェックや相互補完および情報公開等が進まない要因の一つになっている。そこで、互換性のあるデータ作成システムの構築を目指し、**何処で・誰が行なっても比較検討が可能なものにして、信頼性の向上や情報公開などの多様化するニーズへの対応の第一歩とする。**

具体的には、当センターが中心になって、現状の問題点を明らかにし、改善点をまとめ、統一に向けての方向性を示し、ソフトメーカーに作成作業を委託し、ジオ・ラボネットワークで共に使用して確認をすることを行う。つまり、利用者とメーカーの共同作業で、最善のソフトに仕上げるとともに共有できるようにすることで、課題の解決を目指すものです。（佐藤記）

【事業実施の流れ】



* 問合せ・ご意見等については、センターの担当（佐藤・橋本）までご連絡ください。

平成27年度 技術講演会聴講報告

地盤技術室 李俊憲

平成 27 年 12 月 16 日に関西地質調査業協会、日本応用地質学会関西支部、関西地盤環境研究センターの 3 団体共催による技術講演会「盛土に関する最近の動向－事例から性能評価まで－」が開催されました。講師は西日本旅客鉄道株式会社の近藤政弘氏、神戸大学の澁谷啓教授、大阪大学常田賢一教授でした。近藤氏は「鉄道盛土の災害と対策」の題目で地震・豪雨被害の事例とそれに対する対策について公共事業者としての立場で講演をされました。澁谷先生は「宅地造成に役立つ地盤調査・試験法」の題目で宅地盛土の現状と問題点、新たな調査・試験方法の適用性や今後の課題について講演され、我々にもわかりやすい内容でした。常田先生は「道路土工構造物技術基準を考える」の題目で道路土工構造物の地震被害の事例、性能評価および性能設計の概念や基準について、土工構造物も橋梁などと同様に性能設計が導入されることを中心に熱く講演していただきました。

盛土をはじめとした土工構造物は市民生活のにとって必要不可欠なものであり、経済的で環境に優しいという条件が必要なことも分かりました。また、盛土の被害が後を絶たない現状についても、盛土築造の多くが、経験的に定められた管理基準値＝密度管理で築造されており、被害の多くは不十分な締固めや盛土内への水侵入が起因していることが理解出来ました。地震や雨などに対する災害を少しでも減らすために、現状の管理基準を見直すべく、性能設計の導入が図られている意図を強く感じました。

最後に、盛土について有意義な講演を聞くことが出来、とても勉強になりました。12 月という忙しい時期にも関わらず、100 名を超す参加者が盛土の性能設計導入に大変興味をもっているという実感を感じました。



近藤先生



澁谷先生



常田先生



会 場

平成 27 年度 技術講演会

「盛土に関する最近の動向－事例から性能評価まで－」

主催：一般社団法人 関西地質調査業協会
 一般社団法人 日本応用地質学会関西支部
 協同組合 関西地盤環境研究センター

時 間	内 容	講 師
13：15～13：20	開 会 挨 拶	一般社団法人関西地質調査業協会 理事 技術委員長 東原 純
13：20～14：20	鉄道盛土の災害事例と対策技術	西日本旅客鉄道株式会社 構造技術室基礎・トンネル構造 グループ 課長 近藤 政弘
14：20～15：20	宅地造成に役立つ地盤調査・試験法	澁谷 啓 神戸大学大学院教授
15：20～15：30	休 憩	
15：30～16：30	道路土工構造物技術基準の制定を考える	常田 賢一 大阪大学大学院教授
16：30～17：00	全 体 討 論	
	閉 会 挨 拶	日本応用地質学会関西支部 支部長 釜井俊孝



東原技術委員長



釜井支部長

行事・講習会・資格試験等のご案内

(H27 年 12 月 25 日現在)

主 催	開催日 開催地	名 称	募集内容	申込締切
関西地質調査業協会 http://ks1415.ec-net.jp/		匠（優秀オペレータ）募集	募集	10月1日～ 翌年2月28日
地盤工学会 https://www.jiban.or.jp/	1月15日	「液状化解析実務講座」	募集	
	1月27日	「土を固める原理と応用講習会」	募集	
	1月29日	地盤の動的解析 －基礎理論から応用まで－講習会	募集	
		シニア会員と若手の交流企画	講師募集	原則として年齢 60歳以上
関西地震観測研究協議会	1月15日	地震防災フォーラム2016 スーパーコンピュータによる地震被害評価と 災害情報共有・利活用の現状とこれから	募集	
日本建設機械施工協会関西支部 地盤工学会関西支部 日本建設業連合会関西支部 土木学会関西支部	2月16日	平成27年度施工技術報告会 「最近の建設・保全・環境技術と施工事例」	募集	1月15日
土木学会西部支部 http://www.civilnet.or.jp/secretaries/ planning/nenkou/2016_rits/	6月11日	平成28年度 土木学会関西支部 年次学術講演会	募集	1月25日～2月29日
（一社）環境地盤工学研究所 http://rieg.jp/	1月15日	第2回RIEGフォーラム	フォーラム	1月12日

※内容の詳細については、ホームページ等でご確認願います。

こんな時代だから、 ちょっと♡心に残る良い話

今回のちょっといい話は、松下幸之助氏の名言を記載してみました。

北海道大学の初代教頭のウィリアム・スミス・クラーク氏の言葉「少年よ！大志を抱け！！」の名言と現実味がある名言・・・。

今の皆様ならどちらが名言だと思いますか？自分ならどちらを受け入れますか？

お暇な時に一読してみてください。

(稲田 記)

世間には、

大志を抱きながら大志に溺れて、

何一つできない人がいる。

言うことは立派だが、実行が伴わない。

世の失敗者には、

とにかくこういう人が多い。

【参考文献】 <http://earth-words.org/archives/1235>

編集後記

新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりありがとうございました。本年も何卒よろしくお願いいたします。

皆さんもご存じのように今年の干支は『申』です。私自身あまり知らなかったのですが申年に「赤いパンツ」を履くと縁起がいいとされているみたいです。そういったことで前回の申年の時には赤い肌着が大変流行ったようです。古くから「赤いものは病気を防ぐ厄除け」「赤いものを身につけると病気除けになる」等の言い伝えと申年の「サル」から「病気が去る（サル）」等語呂が良いことから「申年に赤いパンツを履くと歳をとっても人の下の世話をしてもらわず自分で出来るようになる」と言い伝えられています。そのような言い伝えから申年には赤い肌着をつけるようになったみたいです。私もそれに倣い今年は「赤いパンツ」を履こうかなと思います。今年は赤い肌着の種類も豊富になるようなので、皆さんも赤い肌着を身に着けて健康で元気に過ごしていきましょう。

長々と赤いパンツのご利益を書きましたが、今年もセンターは笑顔を忘れず全力で走っていきますのでご協力よろしくお願いいたします。

【参考】 <http://antakecc.com/sarudosi-akaipantu-akaihadagi-1296>

(松川 記)

組合員・賛助会員名簿

【組合員名簿】

(50 音順)

会 社 名	電話番号	会 社 名	電話番号
株式会社 アスコ	(06)6282-0310	株式会社 白浜試錐	(0739)42-4728
株式会社 アテック吉村	(072)422-7032	株式会社 ソイルシステム	(06)6976-7788
株式会社 インテコ	(0742)30-5655	株式会社 ダイヤコンサルタント 関西支社	(06)6339-9141
株式会社 エイト日本技術開発 関西支社	(06)6397-3888	株式会社 タニガキ建工	(073)489-6200
株式会社 オキコ コーポレーション	(06)6881-1788	株式会社 地圏総合コンサルタント 大阪支店	(06)6223-0955
応用地質 株式会社 関西支社	(06)6885-6357	中央開発 株式会社 関西支社	(06)6386-3691
川崎地質 株式会社 西日本支社	(06)7175-7700	中央復建コンサルタンツ 株式会社	(06)6160-1121
株式会社 関西土木技術センター	(075)641-3015	株式会社 東京ソイルリサーチ 関西支店	(06)6384-5321
株式会社 関西地質調査事務所	(072)279-6770	株式会社 東建ジオテック 大阪支店	(072)265-2651
株式会社 基礎建設コンサルタント 大阪営業所	(088)642-5330	東邦地水 株式会社 大阪支社	(06)6353-7900
基礎地盤コンサルタンツ 株式会社 関西支社	(06)6536-1591	株式会社 日さく 大阪支店	(06)6318-0360
株式会社 キンキ地質センター	(075)611-5281	株式会社 日建設計シビル	(06)6203-3694
株式会社 建設技術研究所 大阪本社	(06)6206-5700	日本基礎技術 株式会社 関西支店	(06)6351-0562
興亜開発 株式会社 関西支店	(072)250-3451	日本物理探査 株式会社 関西支店	(06)6777-3517
株式会社 神戸調査設計	(078)975-3385	株式会社 阪神コンサルタンツ	(0742)36-0211
株式会社 興陽ボーリング	(06)6932-1590	阪神測建 株式会社	(078)360-8481
国際航業 株式会社 関西技術所	(06)6487-1111	復建調査設計 株式会社 大阪支社	(06)6392-7200
株式会社 国土地建	(0748)63-0680	双葉建設 株式会社	(0748)86-2616
サンコーコンサルタント 株式会社 大阪支店	(06)4803-2010	株式会社 メーサイ	(06)6190-3371
株式会社 シマダ技術コンサルタント 大阪本社	(06)6392-5171	明治コンサルタント 株式会社 大阪支店	(072)751-1659
有限会社 ジオ・ロジック	(072)429-2623	株式会社 ヨコタテック	(06)6877-2666

【賛助会員名簿】

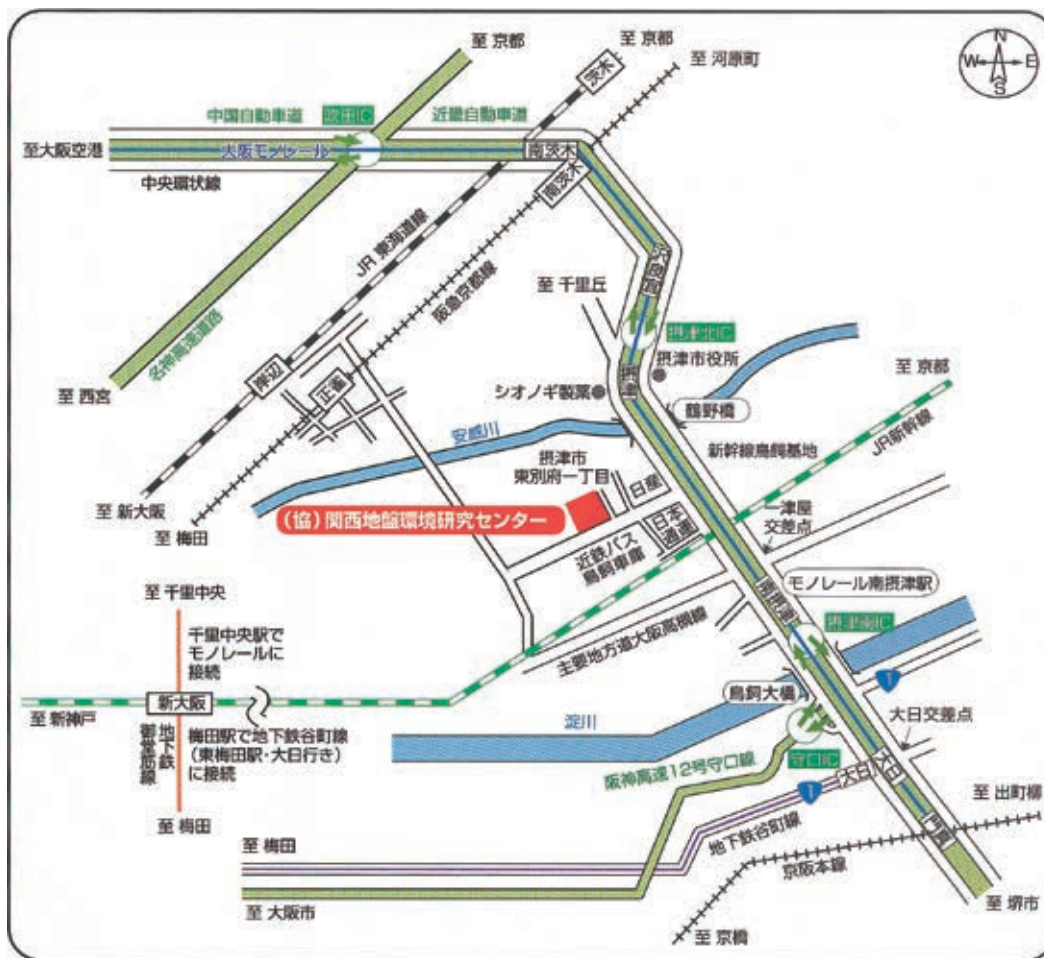
会 社 名	電話番号	会 社 名	電話番号
株式会社 アーステック東洋	(075)575-2233	株式会社 ソルブレイン	(06)6981-3330
株式会社 池田地質	(06)6797-2280	株式会社 中堀ソイルコーナー	(06)6384-9069
株式会社 創研技術	(088)652-0077	株式会社 兵庫コンサルタント	(0799)28-1074
株式会社 総合技術コンサルタント	(075)312-0653		

発 行 協同組合 関西地盤環境研究センター
〒566-0042 摂津市東別府1丁目3番3号
TEL 06-6827-8833 (代)
FAX 06-6829-2256
e-mail tech@ks-dositu.or.jp

編 集 広報関連委員会
編集責任者 中山義久
印 刷



<http://www.ks-dositu.or.jp>



モノレール南摂津駅より徒歩約15分 JR岸辺駅よりタクシーで約10分 阪急正雀駅より徒歩で約25分



協同組合 関西地盤環境研究センター

〒566-0042 大阪府摂津市東別府1丁目3-3

TEL.06-6827-8833(代表)

FAX.06-6829-2256(地盤技術室)

<http://www.ks-dositu.or.jp>

ISO/IEC17025認定試験所(摂津試験所)

ISO9001認証取得

計量証明事業者登録(濃度)大阪府第10310号

環境省土壌汚染指定調査機関(環2003-1-99)